

狭戸尾副委員長（自民議連）

令和4年3月10日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）乳幼児期における教育と保育についての認識について

小学校就学前の早い時期から、読み書き計算などの教育を行うというのも弊害があるのではないか。教育委員会として、乳幼児期の教育をどのような理念の下で、進めていこうとしているのか、教育長の所見を伺う。

（答）

乳幼児期におきましては、一人一人の子供が興味・関心に基づいてやりたいことを自由に選択できるような環境の中で、安心して自己を発揮しながら「遊び」を展開し、生涯にわたって主体的に学び続けるための基盤となる「探究の芽」を育てていくことが重要であると考えております。

このため、就学前から、読み書きや計算能力等の習得を目指す詰め込み型の教育ではなく、「遊びは学び」という基本的な理念の下、教育・保育が実践されていくことが必要であると考えております。

こうした考え方が園・所等にとどまらず、全ての教育の出発点である家庭、さらには小学校以降でも共感的に理解されるよう、第2期の『「遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プラン』においても、引き続き施策を展開してまいります。